

記入見本：配偶者が氏を持たない場合

婚姻届

令和 7 年 6 月 20 日 届出

在マレーシア日本国 大使 殿
総領事

フリガナはカタカナで記入

項目名の「氏」と、「名」の欄との境界線を二重線で抹消してください(妻となる方が氏を持たない場合も同様)。また、この欄に記入した外国籍配偶者の氏名(原則カタカナ)が、戸籍に記載されますので、小書き文字(例:ツ)を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

【夫の欄】国籍を記入してください。

【妻の欄】戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

(1) 氏名	夫になる人 モハマドビンアリ	妻になる人 ホシ ナツコ 氏 名 星 夏子
生年月日	西暦 1990 年 5 月 7 日	平成 2 年 2 月 20 日
(2) 住所	マレーシア国 スランゴール州 ペタリンジャヤ市 セクション17 17/6通り サクラコンドミニウム A-1-1	左に同じ
(3) 本籍	マレーシア	大阪府大阪市旭区 大宮一丁目1
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	父 アリビンアブドゥラ 母 ファティマビンティモハマド	父 星 二郎 母 冬美
(5) 同居を始めたとき	平成 5 年 12 月	令和 5 年 12 月
(6) 初婚・再婚の別	☐ 初婚 ☒ 再婚	☐ 初婚 ☒ 再婚
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯の主な仕事と	夫 妻 夫 妻 夫 妻	夫 妻 夫 妻 夫 妻
(8) 夫婦の職業	夫の職業 01	妻の職業 00

外国籍父母の氏名は
日本文字で記入

死別又は離別がある場合、該当区分に☑を入れ、日本国籍の方は和暦で、外国籍の方は西暦で、その年月日を記入。

婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【新しい本籍を、婚姻前(現在)の本籍とは異なる場所に設定する方へ】
当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。

令和 7 年 6 月 13 日 マレーシア国 の方式により婚姻成立、 スランゴール州 作成の
婚姻証書添付。 イスラム宗教局 同登録官

※ 配偶者がマレー系の場合、下記一文を記入：
夫(妻)はマレー系マレーシア人の為、
氏と名の区別がなく名のみである。

【既に同居している方】本欄に同居開始又は結婚式(挙行済みの場合)の年月のうち、早い方を記入。
【既に結婚式は行ったが、まだ同居していない方】本欄に結婚式の年月を記入し、その他の欄に「まだ同居していない。」と記入。
【同居及び結婚式が共に未了の方】本欄には記入せず、その他の欄に「まだ結婚式も同居もしていない。」と記入。

署名欄・押印欄共に、blankのまま当館に持参願います。届出人となる日本国籍の方に、当館窓口にて署名いただきます。(押印は任意)

届出人署名(※押印は任意) 夫 妻 印 印

職業例示表(「婚姻届に係る記入上の注意点(共通)」の項に掲載)を参照し、「最も近い職業分類の番号」又は「具体的な職業名」のいずれかを記入してください。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入し、メールアドレスは誤送信防止のため、読み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: xxx-xxxx-xxxx

E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90

ジーイチキュー アンダーエムエル エヌ アルオーゼロ